

第4回 河床低下対策検討部会 開催報告

日時：平成31年1月23日（水）14:00～17:00

場所：安中土木事務所2階大会議室 及び 現地（碓氷川 久保井戸浄水場付近）

➤ 議題

- ・試験施工計画について
- ・モニタリング調査結果
- ・今後の予定

➤ 議事概要

- ・露出した岩盤の上にネットを設置し、砂礫で覆う試験施工の内容及びモニタリング方法を確認した。
- ・試験施工の効果を把握するため、河道の状態や川の流れなどの基礎的な資料を整理する必要がある。
- ・どのような生物種がどの時期に増えたか確認することで、試験施工の効果を把握できるため、施工後1年間くらいは調査の頻度を増やした方がよい。
- ・コンクリートによるネットの端部処理により、周辺の岩盤が削れてしまう懸念があるため、工夫する必要がある。

【 議事への対応 】

- ・カメラや水位計の設置、現地測量やUAV空撮を実施する。
- ・今年は底生動物調査を3ヶ月に1回程度実施する。
- ・ネットの端部に直接コンクリートを打設し、鉄筋を入れて一体感を持たせることで、河床の変動に対しても追従できる構造とする。

➤ 今後の予定

- ・出水時の観測及び河川環境調査の実施、河床変動状況の確認
- ・本年12月頃に検討部会開催



検討部会での現地調査状況



試験施工後の状況（H31.2.18撮影）